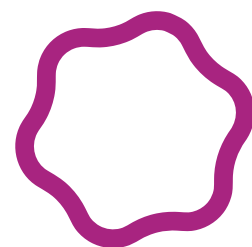


hgu_LAB. MAGAZINE

Apr 2024

vol.

017



DIVER

Kai Okamoto



HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY

Dreams are not things you wish for, but things you make come true, right?

ONE OK ROCK

Kai
Okamoto

岡本 海

北海学園大学 工学部
建築学科 2 年（取材時）
北海道旭川工業高等学校出身

旭川市生まれ。建設会社を営む父の影響で建築に興味を持ち、高校では建築科、大学でも建築学科へ進学。本学のスキューバダイビング部「マリンノーブルズ」への入部をきっかけに、自身の名である「海」を舞台とするこのスポーツに熱中。現在は部長を務める。「自分にはかなえない夢があります。その実現のために、スキューバも含め大学生活でさまざまなことに挑戦してきました。失敗した時や弱気になった時には、大好きな ONE OK ROCK を聴いて自分を奮い立たせています。夢は見るものではなくかなえるもの、かなわない夢は夢とはいわない。その言葉に何度も救われて、背中を押してもらっています」

同じ場所でも潜るたびに別世界。 飽きること？ないですね。

「海はひろいな、おおきいな」という歌があります。

どこまでも続く大海原。でも陸から見えるその姿は、海のほんの一部。

海面下には何十倍もの、深い世界が広がっています。

大学に入学してから約2年で、すでに40を超えるダイブ経験をもつ岡本海くん。

地上から見ているだけじゃわからない海の「ディープ」な魅力、教えてくださいませんか？

そして岡本くんの中にある、海にも負けないでっかい夢の話も、聞かせてください！

40分だけど体感5分

——スキューバダイビング部の部長を務めているそうですが、お名前がなんと「海（カイ）」さん。名前の由来は海とは直接関係なくて、「海のように広い心を持った人に」という思いを込めたと聞かれています。ただ、父方の実家が小樽で漁師をしていたので、海には小さい頃から親しんでいました。名前と同じということもあり、海は特別な場所です。

——スキューバを始めたのも、海が好きだったから？それもありますけど、大学に入った当初、「当たって砕ける精神」で、気になるサークルにはどんどん入ってみたんですよ。その中で今、スキューバダイビング部とボランティアサークルに落ち着いたって感じです。

——いろいろ試した中、スキューバに心をつかまれた理由はなんだったんでしょう？

船上から海に飛び込んだ瞬間に、陸上では見ることのできない素晴らしい光景が広がるから！初ダイブの積丹でめちゃくちゃ感動し、さらに年1回の石垣島合宿で、海中の世界に夢中になりました。

——同じ海でも、北と南ではかなり違うのでは？全然違います。積丹の海は透明度が高くて静か。そこに大量のウニや超巨大タコ、1m超の座布団みたいなヒラメなんかがいる、昆布などの海藻がわざわざ生い茂っていて…あと「柱状節理」という、人工物のように規則的な形をした岩も見られます。遺跡みたいで圧巻です。大自然を体感できるのが

積丹の魅力です。石垣島は、何もかもがあったかい。3月ですでに水温が20℃を超えます。現地の人は冷たいて言うけど、北海道の人間からしたら温水プール（笑）。しかも、「色」もあったかい。珊瑚礁も魚もカラフルで、言葉で言えない美しさ。石垣島でのダイブは1本40分なんですけど、マジ、体感5分でした。

——聞いているだけでワクワクします！

でしょ？北と南はもちろん違いますけど、例えば積丹に何度潜っても、天候や季節、時間帯で、潜る度に別世界なんです。飽きることはないですね。美しい景色に夢中になっているうちに気持ちも広くなり、地上に戻る時には、サウナじゃないですけど「ととのっている」感覚です（笑）

何があっても平常心

——泳ぎはもともと得意だった？

得意でしたよ。ただ、スキューバには泳ぎの上手い下手はあまり関係ないんですよ。部員にも泳ぎが苦手な人、結構いますが、泳ぎのうまさよりも、怖がらないことの方が大事です。

——岡本くんも怖いと感じたことはある？

まだ経験が浅い頃、春の積丹で一度、プチパニックになったことがあります。ダイビングスーツってものすごく動きづらいです。着ると、腕が肩の高さくらいまでしか上がらない。そこに約30kgの機材を身につけるからさらに動きが制限されます。そ

の状態です。冷たい海に入ったら体がこわばって、「うまく動けない！」って慌てたら息がどんどん浅くなり、もっと動けなくなるという悪循環に。さすがに怖かったですね。

——その経験を経て心掛けていることは？

「何があっても平常心」です。呼吸一つとっても、ボンベから吸う酸素ってゴムっぽいというか、なんともいえない味がある。海中は何もかも陸上とは違うので、ちょっとしたことで慌てそうになるんです。で、焦るとつい上へ向かいなくなるんですが、深いところから一直線に海面へ上がるのは厳禁。水深に合わせてボンベや浮力調整装置内の空気を減らし、浮力を調節しながら上がらないと危険なんです。焦りはより大きな事故を招く。そこで大事なのが平常心です。前の人のフィン（足ひれ）に蹴られてマスクが飛んでいって目を開けられなくなったとしても、心の中で「平常心！」と一回唱えて助けを待ちます。

——マスクが取れたら普通ならパニックになるところ、その冷静さ。見習いたいです。

逆に、楽しい時も「平常心」が大切です。部員と潜る時には「そこにアワビがいるよ！」なんてワイワイやっていますが、テンションが上がって生き物に夢中になった結果、海中で迷ったりしたら大変なので、周りへの目配りは欠かせません。北島さん（p.5参照）のサポートで潜っているときも、海中が楽しすぎて皆との距離が開いていっているお客さんがいたら、はぐれないように見守り、冷静に誘導しています。

My Friend

バディ同士 なぜか伝わる水中トーク

——スキューバは、基本的に2人1組で潜るんですよね？

岡本 はい。その相方が「バディ」です。

雨池 お互い、上級ライセンス取得に挑戦中で経験を積んでいる最中なので、バディを組む機会は一番多いです。

——2人が親しくなったきっかけは？

雨池 2年次の石垣島合宿です。それまで全く接点なかったのに、気づけばずーっと隣にいた。2人だけで出かけたりもしたね。

岡本 流れに乗ってくれるタイプだと思ったので、「副部長はカイが選んでいいよ」と言われた時には、即、声をかけました。

雨池 それに「いいよ〜」って返しました（笑）

——今は大学でもよく会う？

岡本 それが、キャンパスが違うから全然出会わない。でも、海でイヤってほど会うもんな。

雨池 積丹に行く時はいつもカイの車に乗せてもらっていて、そこでもたくさん話すからね。車内で部のイベントを計画すること多いんですよ。

岡本 うちの部、部室がないんで、今はマイカーが部室状態。この間のボーリング大会も、車内でおれが発案し、遼馬がその場で会場を手配しました。いつも、おれが流れを作ったら遼馬が乗ってくれる。

雨池 大体乗るね。いいよ〜、ってね。

岡本 こいつとは水中で会話もできるんですよ。マウスピースを外して「ポボゴボゴボゴ〜！」ってしゃべると、伝わる！聞き取れるみたい。

雨池 声が聞こえるわけじゃないよ（笑）。ジェスチャー込みで読み取ってます。

岡本 でも他の人だと、同じことをしても伝わらないんだよ。それだけ、おれらが相性の良いバディってことだね。





My Favorite Shop

この世界のさらなる「深み」へ

——部活以外でも、潜りに行く機会がありますか？
自分と副部長の遼馬（p.2）は、今、上級ライセンスに挑戦していて、経験を積んでいる最中なんです。うちの部は「札幌ダイビングサービス」の北島さんにご指導いただいているんですが、その北島さんの仕事のお手伝いというかたちで積丹で潜る機会をいただいています。多い時は4日連続で潜ったこともあります。

——今、挑戦しているライセンスというのは？
PADIマスター・スクーバ・ダイバー（MSD）です。スクューバにはライセンスが必要。そのライセンスにもレベルがあり、レベルごとに潜る時の決まりがあります。入部後にまず取得するのは一番初歩のオープンウォーター。で、MSDは「ライセンス取得済みの人向けのガイドができる」ライセンスです。取得には50本以上の経験も必要で、自分は現時点で43本です。

——ご自身の潜った本数、記憶しているんですか？
ちゃんと記録をつけているので分かります。ダイバーには、ログブックという、潜水情報を書き込むノートへの記録が義務づけられています。日時や潜水地はもちろん、潜水前後のボンベ残圧、トータルの潜水時間、水深、気温と水温、透視度、その日の装備など、詳細に記録します。ちなみに、潜る時には時計のような形をした、ダイブコンピュータという機械を身につけて潜ります。潜水中のさまざまな情報がそのダイブコンピュータに記録されるので、海から上がった後に書き写します。ログブックを見れば、その人の力量はだいたいわかりますね。ダイバーの実力を客観的に証明する唯一の手がかりになるものなので、毎回、しっかり記録づけしています。

——お話を聞く限り、ライセンス取得はすでに射程範囲内かと思います。取得できたら、活動の幅も広がりますね。

はい。北島さんとも、「MSD取得者がいれば、部のみんながもっと潜りに行きやすくなるよね」と話しています。自分は北海道出身ですが、身近な海の中にこんなに美しい世界が広がっているなんて、スクューバを始めるまではまったく知りませんでした。今は、「知らないままではもったいない」と感じています。海の中の素晴らしい景色をもっと多くの人に知ってほしいし、たくさん見てほしい。潜る機会が少しでも増えたら、「北海道って素敵だな、いいところだな」と感じてくれる人も増えてくれるんじゃないかなと思います。まずは、部員みんなに、1本でも多く潜ってもらいたい。新入部員がライセンス取得を始める夏までには、MSDを取得しておきたいです。

大きく広がる夢 かなえるためのダイブ！

——そろそろ就活も始まり、忙しくなりますね。
実はすでに忙しいです。今、在学中の二級建築士合格を目指し、勉強しているところなんです。自分には大きな夢があるんです。大好きな地元・旭川の少子高齢化を止めて、札幌に負けないくらい活気ある、若者であふれる街にするという夢！バカげていると言われるかもしれないけれど、実現したいと本気で思っています。資格取得もそのための準備の一つ。就職については行政にしようか民間企業にしようか、まだ迷っているところですが、いずれにしてもまちづくりの観点から旭川に貢献したい。そこはブレずに就職試験対策を頑張っています。

——お父さんが建築関係のお仕事をされているんですよね。建築面から貢献したいと考えたのには、やはり、お父さんの影響もありますか。
ありますね。親父からは、人間的にも影響を受けています。親父はパワフルで、いつもバリバリ仕事をしています。周りに慕ってくれる人がたくさんいます。自分が大学でいろいろなサークルに入ったり、さまざま



な人と関わったりしてきたのも、親父に常々「横の関係を広げろ、人への頼り方も覚えろ」と言われてきたことが大きいですね。残りの大学生活でも、いろんなことに取り組みたいし、そこでたくさんの人とつながりたい。挑戦の中で成長して、自分の可能性を広げていきたいと思っています。

——挑戦には不安と楽しさの両方につきものですが岡本さんの場合は？
楽しさが勝ちますね。近々、知床に流水ダイビングに行くんですよ。海に行くというのに「雪山に行く格好で来て。服は5枚重ねで」と言われていて、「どんな世界に行くんだろう」と怯えています（笑）。水温、-1℃だとか。氷水に潜るって、想像つかないっす。めっちゃ怖い。でも、めっちゃ楽しみ。やっぱりワクワクが勝ちますね。知床でも、新たな世界に飛び込んできます！



北の海鮮炙り ノアの箱舟

札幌市中央区南8条西4丁目 鴨々川沿い
011-521-3022
17:00～23:00（コースラストLO 21:00）
不定休

大雪コース 7,000円
漁火コース 7,500円

※2024年2月現在



喜んでもらえたことを、次のお客様にも

1年生のときからこのお店でのアルバイトを続けています。部活もバイトも海に縁がありますが、それはたまたま（笑）。うちのお店はおいしいですよ～！いち押しは北海道を満喫できる「大雪コース」。旬の海鮮に加え十勝和牛も食べられるボリューム満点のコースです。ほかには、キンキが食べられるお得な「漁火コース」もおすすめです。予約してもらえるとスピーディーに提供できるので、ぜひご予約を。

当店はテーブルごとに担当が付き、お客様の目の前で食材を焼いて提供するスタイル。焼きながら食材の説明なども行います。テーブルを任せられる上にパフォーマンス性も求められるので、責任は大きく緊張しますが、それこそが面白さ。マニュアルにのっとるだけでなく、「こうしたら喜んでもらえたな」という経験をもとに工夫しながら接客しています。以前、来店してから、甲殻類アレルギーだということがあったお客様がいたんです。急遽、キッチンと相談し、その方の分だけコース内容を変えてあげたらものすごく喜ばれて、帰り際、「岡本さん、ありがとう！」と名前を呼ばれてがっちり握手。あれはうれしかったな。

My Mentor

大変なときは 思い出そう、知床を！

——ちょうど昨日、知床から帰ってきたそうで？
岡本 はい。驚いたのは気温がプラス8℃もあったこと！ただ、海はしっかりマイナス。入った瞬間「顔、づべだいー！！」ってなりました。
北島 気温は観測史上最高だったけど、流水のコンディションはここ7～8年で一番だったよ。
岡本 流水の下、不思議な世界でした。海底が、淡水と海水の分かれ目の「ハロクライン」の影響で、モザイクがかって見えました。
北島 海の色も水の影響で薄暗くて、積丹とはだいぶ違う景色だったでしょ。いい経験ができたね。

——部活中や仕事の手伝い中の岡本くんは、北島さんから見ていかがですか？
北島 しっかりしていて真面目。部長になりうるメンバーが増えて、さらに一回り大きくなったかな。ダイバーとして、海の怖さもよく理解してくれていますね。
岡本 命を背負う仕事ですから。北島さんも、危ない時はお客さんであってもしっかり注意しますし。北島さんのすごさは、注意した人もトリコにしてしまうところ。お母さん感というかな、物腰柔らかでニコニコしているけど、必要な「トゲ」もあって、慕われる。自分もその一人。昔、北島さんに「雑なところがあるよ」と言われたことがあるじゃないですか。
北島 ああ、アルバイトのことで言ったかな。
岡本 しっかりやっているつもりに言われたから、ハッとしました。気づきをくれた貴重な言葉で、今も大事にしています。勉強にプライベートに部活、いろいろ気遣ってもらっていていつもありがたいです。これからもよろしくお願いします。
北島 勉強も、ライセンスへの挑戦も頑張っているよね。スクューバでの経験は、カイのこれからの人生のいろいろな場面で必ず励みになると思うよ。大変な時は知床の海を思い出して。そうすればたいていの厳しさは、乗り切れるはず！（笑）



Koji Kitajima

北島 浩二
札幌ダイビング
サービス 代表

My Favorite Things



ダイビングスーツ

ウエットとドライの両方、フルオーダーで作りました。メーカーや仕様は北島さん（p.5）にお任せしましたが、色は自分でチョイス。普段は黒などを着ることが多いですが、海でなら派手でもいいかとピンク系に。水中でも目立つところがお気に入りです。スーツと合わせ、BCD（浮力調整装置）、レギュレーター、マスク、フィン、手袋……装備も一式購入しました。ちなみに、部活の時は装備を全部レンタルできるので、入部しようとしている方、購入の必要はないですよ。



キーストラップ

大学に入ったときに買ったもの。手持ちの鍵はこれに全部つけています。一人暮らしは大学に入ってから。入学当初、家に帰って鍵を開けても誰もいないのが寂しすぎて、軽くホームシックになりました。1カ月もすると慣れたけど、実家の温かさ、ひしひし感じました。



スーツ
TAKEO KIKUCHI

両親からの入学祝いです。なんの用件かわからないまま、日時と場所だけ指定されて行ってみたら、それがスーツの採寸でした(笑)。オーダーなので動きやすいしデザインも気に入っていますが、まだ1回しか着られていないんです。就活で活躍してもらおうかな。



ピアス

「何それ、耳に猫ついてる!?!」とか、気づいてくれた人が驚いたり、面白がってくれるのが楽しくて、かわいいの、おもしろいのを見つけたら買っています。ネットで買うことが多いかな。お気に入りは、折り鶴と黒ネコ。遊び心、大事にしています。



S/ei 自動巻クロノメーター
TAG Heuer

父が初めて買った高級時計を札幌に来る時に譲り受けました。振ったら使い続けられる自動巻き時計で、便利です。時計はあまり身につけない方なのですが、アルバイト中はスマホを使えないので、次の予約時間の確認などに大活躍しています。これからも大事に使います。



FLAT KING
zerooneoneArtistic

旭川にいた時から、冬はスノボを楽しんでいます。今年購入したこの板は、くいつとした先端のフォルムがポイント。技が決まるとすごくかっこいいけれど、乗りこなすにはテクニックがいります。まだ「乗せられてる」感覚なので、早く乗りこなしたい！



ペンケース

実はこちら、小学生の時からのお相棒です。これ、ファスナーを開けていくと最後は1本のひもになるんです。面白いでしょ？物持ちがめちゃくちゃ良いところは自分の長所です。ちょっとほつれは出てきたけど壊れそうにありません。まだまだ使う予定です。



AirPods Pro
Apple

高校時代から約5年使ったAirPodsが壊れ、最近新しいもの買い替えました。音楽はいつも聴いています。潜りに行く時も、車内のカーステレオで。遼馬（p.5）が同乗している時は遼馬に選曲をお任せです。性格は違うけど、曲の好みは結構、合います。



AdoのCD、グッズ
Ado

CDは初版限定のレア品。ライブのチケット欲しさに買いました。でも抽選に外れ、先日出たアルバムの購入者抽選でも外れ……ダメ元で一般応募したら見事当選！Adoやワンオクのように、自分の世界をしっかり持っているアーティストが好きですね。